



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無（当社ウェブサイトにて決算説明の動画（録画）を配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,178	△47.8	△644	—	△644	—	△493	—
2020年3月期第2四半期	11,835	53.9	1,011	—	979	—	398	—

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 △407百万円（－％） 2020年3月期第2四半期 417百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△38.74	—
2020年3月期第2四半期	35.05	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	13,695	4,555	33.3	357.51
2020年3月期	14,791	5,078	34.3	398.64

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 4,555百万円 2020年3月期 5,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	8.50	8.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△36.7	50	△97.3	50	△97.3	△170	—	△13.34

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

除外 1 社 (社名) レシップエスエルピー株式会社

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	14,178,200株	2020年3月期	14,178,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,436,119株	2020年3月期	1,439,807株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	12,741,112株	2020年3月期2Q	11,355,157株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済活動の停滞や個人消費の落ち込みが続くなど急激に悪化し、先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートいたしました中期5か年計画「CA2020」の重点課題である「MaaSの実現に向けた新しい価値の創造」「育成分野への経営資源のスムーズな移行」「海外ビジネスの黒字化」「業務プロセス改善による生産性の向上」の4つの課題に向けた取り組みに注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、輸送機器事業、産業機器事業ともに前年同期実績を下回り、売上高は61億78百万円（前年同期比56億57百万円減、47.8%減）、営業損失は6億44百万円（前年同期比16億55百万円減、前年同期は10億11百万円の営業利益）、経常損失は6億44百万円（前年同期比16億24百万円減、前年同期は9億79百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億93百万円（前年同期比8億91百万円減、前年同期は3億98百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(輸送機器事業)

当事業の売上高は38億68百万円（前年同期比50億39百万円減、56.6%減）、営業損失は5億58百万円（前年同期比14億91百万円減、前年同期は9億32百万円の営業利益）となりました。

市場別の売上高は、バス市場が26億4百万円（前年同期比47億56百万円減、64.6%減）、鉄道市場が8億5百万円（前年同期比2億64百万円減、24.7%減）、自動車市場が4億58百万円（前年同期比18百万円減、4.0%減）となりました。

バス市場につきましては、車載用液晶表示器などの売上は増加したものの、首都圏バス用ICカードシステムの更新需要の一巡により、バス用運賃箱やICカードリーダーライタなどの売上が大きく減少いたしました。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による業界全体の設備投資マインドの冷え込みもあり、バス市場向け製品全般の売上が伸び悩んだ結果、減収となりました。

鉄道市場につきましては、前年同期にあった消費税増税に伴う運賃データの書き換え需要が一巡したほか、米国の鉄道車両用灯具の売上が減少し、減収となりました。

自動車市場につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴うトラックメーカー様の生産調整の影響により、トラック用灯具の売上が減少し、減収となりました。

(産業機器事業)

当事業の売上高は22億88百万円（前年同期比6億17百万円減、21.3%減）、営業損失は58百万円（前年同期比1億61百万円減、前年同期は1億2百万円の営業利益）となりました。

市場別の売上高は、電源ソリューション市場が9億31百万円（前年同期比1億93百万円減、17.2%減）、エコ照明・高電圧ソリューション市場が2億69百万円（前年同期比29百万円減、9.9%減）、EMS市場が10億87百万円（前年同期比3億94百万円減、26.6%減）となりました。

電源ソリューション市場につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、フォークリフトの生産が落ち込むなか、バッテリー式フォークリフト用充電器の売上が減少し、減収となりました。

エコ照明・高電圧ソリューション市場につきましては、道路灯や街路灯、工場天井灯などのLED照明化が進むなか、直管型LED照明灯具の売上は増加したものの、店舗等の屋外看板の掛け替え需要の低迷により、LED電源の売上が減少し、減収となりました。

EMS市場につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う自動車メーカー様の生産調整の影響により、自動車向けプリント基板実装の受託が減少し、減収となりました。

(その他)

当事業の売上高は21百万円、営業利益は3百万円となりました。事業の内容は、主としてレシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は136億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億96百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が12億79百万円、商品及び製品が2億62百万円、仕掛品が1億82百万円、原材料及び貯蔵品が1億80百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が30億26百万円減少したこと等によるものです。

負債は91億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億73百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金が24億36百万円増加した一方で、電子記録債務が7億29百万円、未払法人税等が5億72百万円、未払金が4億84百万円、未払消費税等が3億53百万円、支払手形及び買掛金が3億26百万円、賞与引当金が1億79百万円、設備未払金が1億45百万円減少したこと等によるものです。

純資産は45億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億22百万円減少いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が58百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失4億93百万円の計上や配当金1億16百万円の支払い等により利益剰余金が6億10百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりました。この度、第2四半期累計期間の実績および現時点において入手可能な予測等を踏まえ、通期連結業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

詳細につきましては、本日(2020年11月6日)公表いたしました「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,249,801	3,529,046
受取手形及び売掛金	6,026,429	3,000,104
商品及び製品	618,217	880,459
仕掛品	652,739	834,921
原材料及び貯蔵品	1,194,824	1,375,575
その他	491,105	344,318
貸倒引当金	△85	—
流動資産合計	11,233,032	9,964,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	865,298	882,735
その他(純額)	922,569	804,164
有形固定資産合計	1,787,867	1,686,900
無形固定資産		
投資その他の資産	664,759	715,672
投資その他の資産		
投資有価証券	498,259	579,354
その他	660,409	800,851
貸倒引当金	△52,350	△51,750
投資その他の資産合計	1,106,318	1,328,456
固定資産合計	3,558,946	3,731,029
資産合計	14,791,978	13,695,456
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,540,311	1,213,666
電子記録債務	1,788,619	1,058,691
短期借入金	1,490,887	3,927,311
1年内返済予定の長期借入金	448,500	433,596
未払法人税等	587,727	15,040
賞与引当金	505,345	325,908
製品保証引当金	111,358	83,661
受注損失引当金	88,833	80,570
その他	1,893,261	806,715
流動負債合計	8,454,841	7,945,162
固定負債		
長期借入金	437,443	400,647
従業員株式付与引当金	161,870	174,541
役員報酬BIP信託引当金	121,032	121,032
退職給付に係る負債	32,330	32,070
その他	506,454	466,562
固定負債合計	1,259,129	1,194,853
負債合計	9,713,971	9,140,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,955	1,190,955
資本剰余金	1,202,890	1,202,890
利益剰余金	3,040,015	2,429,764
自己株式	△597,397	△595,957
株主資本合計	4,836,464	4,227,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,942	137,966
為替換算調整勘定	161,600	189,821
その他の包括利益累計額合計	241,543	327,787
純資産合計	5,078,007	4,555,440
負債純資産合計	14,791,978	13,695,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,835,471	6,178,322
売上原価	8,853,454	5,148,902
売上総利益	2,982,016	1,029,420
販売費及び一般管理費	1,970,979	1,673,825
営業利益又は営業損失(△)	1,011,037	△644,405
営業外収益		
受取利息	5	32
受取配当金	7,245	7,483
助成金収入	—	21,173
その他	5,491	7,596
営業外収益合計	12,742	36,285
営業外費用		
支払利息	20,243	14,602
為替差損	18,694	19,765
債権売却損	128	25
その他	5,415	2,417
営業外費用合計	44,482	36,811
経常利益又は経常損失(△)	979,297	△644,931
特別損失		
減損損失	53,162	4,609
固定資産廃棄損	297	225
投資有価証券評価損	19,920	—
特別損失合計	73,379	4,835
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	905,917	△649,766
法人税、住民税及び事業税	409,126	11,780
法人税等調整額	98,736	△167,933
法人税等合計	507,863	△156,153
四半期純利益又は四半期純損失(△)	398,054	△493,613
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	398,054	△493,613

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	398,054	△493,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,007	58,023
為替換算調整勘定	871	28,220
その他の包括利益合計	19,879	86,244
四半期包括利益	417,933	△407,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,933	△407,368
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	905,917	△649,766
減価償却費	292,004	208,854
減損損失	53,162	4,609
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△621	△685
賞与引当金の増減額(△は減少)	△150,107	△179,508
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△265	△27,183
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△99,808	△7,916
従業員株式付与引当金の増減額(△は減少)	12,187	12,671
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	840	△260
受取利息及び受取配当金	△7,250	△7,515
支払利息	20,243	14,602
助成金収入	—	△21,173
投資有価証券評価損益(△は益)	19,920	—
固定資産廃棄損	297	225
売上債権の増減額(△は増加)	1,005,718	3,024,765
たな卸資産の増減額(△は増加)	△671,547	△626,551
信託受益権の増減額(△は増加)	△20,206	136,478
破産更生債権等の増減額(△は増加)	600	600
仕入債務の増減額(△は減少)	67,603	△1,051,822
未払金の増減額(△は減少)	△333,442	△484,526
前受金の増減額(△は減少)	9,607	16,515
未払消費税等の増減額(△は減少)	△86,466	△351,339
その他	24,857	△60,910
小計	1,043,243	△49,836
利息及び配当金の受取額	7,250	7,515
利息の支払額	△20,188	△15,581
助成金の受取額	—	21,173
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△660,108	△582,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	370,197	△619,264
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,805	△200,400
有形固定資産の売却による収入	69	1
無形固定資産の取得による支出	△224,819	△106,907
投資有価証券の取得による支出	△3,780	△3,386
その他	△3,041	882
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270,377	△309,809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△564,466	2,441,639
長期借入金の返済による支出	△405,771	△51,700
自己株式の売却による収入	1,972	1,440
配当金の支払額	△104,489	△116,634
その他	△60,034	△68,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,132,788	2,205,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,647	2,476
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,038,615	1,279,245
現金及び現金同等物の期首残高	2,169,042	2,194,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,130,427	3,474,046

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結累計期間において、特定子会社であるレシップエスエルピー株式会社を吸収合併消滅企業とし、レシップ株式会社を吸収合併存続企業として2020年4月1日付で吸収合併を行った結果、レシップエスエルピー株式会社は消滅いたしました。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,907,719	2,906,015	11,813,734	21,737	11,835,471
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,907,719	2,906,015	11,813,734	21,737	11,835,471
セグメント利益	932,319	102,794	1,035,114	3,489	1,038,604

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,035,114
「その他」の区分の利益	3,489
全社費用(注)	△27,567
四半期連結損益計算書の営業利益	1,011,037

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、53,162千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,868,320	2,288,258	6,156,579	21,742	6,178,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,868,320	2,288,258	6,156,579	21,742	6,178,322
セグメント利益又は損失(△)	△558,699	△58,581	△617,281	3,638	△613,642

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△617,281
「その他」の区分の利益	3,638
全社費用(注)	△30,762
四半期連結損益計算書の営業損失	△644,405

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、4,609千円の減損損失を計上しております。